

はじめてうさぎを飼う方へ



飼う前に

うさぎを飼う前に考えてみてください。

・最期の時まで一緒にいてあげられますか？

うさぎの寿命はだいたい6年～7年といわれています。

でも今では10歳以上生きるうさぎさんもいます。

その間、ずっとうさぎと一緒に暮らせますか？

・うさぎの毛と牧草のアレルギーにありませんか？

うさぎの毛や牧草のアレルギーがある人もいます。世話をする人だけでなく、家族もあらかじめアレルギー検査を受けることをオススメします。

・予算は大丈夫ですか？

飼い始めには多くの生活用品を購入する必要があります。

飼い始めてからも毎月の食費や消耗品代、病気にかかれば治療費もかかります。

・うさぎの世話をする時間はありますか？

毎日の掃除、餌やり、ブラッシング等をする時間はあり

ますか？1日1度はケージから出してあげる必要があります。

・うさぎを飼うスペースはありますか？

うさぎは暑さ寒さや湿気、雨風、外敵に弱い動物です。

極力お家の中で飼ってあげてください。その際ケージとうさぎが遊ぶサークル(2～3畳)のスペースが必要です。

・近くにうさぎを診れる病院はありますか？

意外に思われるかもしれませんが、動物病院であっても、うさぎに詳しい獣医さんは多くありません。近くにうさぎに詳しい病院があるか調べてみましょう。また、うさぎを預けられるペットホテルなども探しておくといいかもしれません。

・他にペットを飼っていませんか？

うさぎは自然界でとても弱い立場にいる動物です。まれに犬や猫などと仲良く暮らしているうさぎもありますが、基本的には他の動物との接触は避けた方が無難です。特にフェレットは天敵です。モルモットはうさぎから病気をもらってしまうことがありますので、一緒に飼うのは避けましょう。



飼う時に気をつけること

・どこで買いますか？

うさぎはウサギ専門ショップ、ペットショップ、ホームセンターなどで買うことができます。また里親を募集している方や団体もありますのでそちらからもらうこともできます。

・どういう種類がいるの？

うさぎと言ってもたくさんの品種がいます。例えば、小柄なネザーランドドワーフや耳の垂れたホーランドロップ、長毛のジャージーウーリーなど、それぞれ様々な特徴を持っています。うさぎ専門店では血統書付の多くの品種のうさぎに出会うことができますし、ペットショップやホームセンターなどでは、よくミニうさぎという名前とうさぎが売られています。どの種類の子もそれぞれ特徴や性格があり、自分が可愛いと思ったうさぎを選んであげてください。

・買うときに気をつけること

うさぎは夜行性ですので、夕方以降に見に行くと、その個体の本来の様子をみることが出来ます。

1. ショップが清潔であること
2. 目がきれい目でヤニや涙が出ていないこと
3. 鼻から鼻水がでていたり、口からよだれがでていないこと
4. 耳の中が汚れていないこと
5. うまく立てること
6. お尻が下痢などで汚れていないこと
7. 生後1ヶ月半～2ヶ月はたっていること

(うさぎは生後1ヶ月半で離乳するといわれています。)

離乳前のうさぎは環境の変化で体調を崩しやすいのです。)

・オスを飼いますか？メスを飼いますか？

一概にどちらの方が飼いやすいかは言えませんが、それぞれ特徴があります。一般的にはオスの方がおおらかだと言われていますが、もちろん個体により性格もありますし、オスは大人になると縄張りを主張するために尿を振りまいたりすることがあります。メスは避妊手術をしないと子宮疾患になる可能性が高くなります。ですので、やはりどちらが飼いやすいとは言えません。

・1羽で飼いますか？複数で飼いますか？

うさぎは寂しいと死んでしまうという噂がありますが、そんなことはありません。うさぎは縄張り意識が非常に強い動物です。そしてとてもストレスに弱い動物です。基本的には1羽が理想的でしょう。複数飼いする場合は注意すべき点があります。まずオス同士は敵対関係にあり、激しいケンカでケガをし、最悪それが原因で死に至ることすらあります。ケージは離れた場所に置き、ケージから出す時間もずらすようにしてください。オスとメスの場合は当然ですが、子供が出来ます。繁殖をさせる時以外は別々のケージに入れてあげてください。

メス同士の場合は個体の相性が良ければ仲良くできますが、ケージは別々にしてあげてください。



最初にそろえる物

うさぎを飼うためにはいろいろな日用品や消耗品をそろえる必要があります。

・ケージ

うさぎの品種にもよりますが、うさぎが大人になった時の大きさに合わせてケージのサイズを選びましょう。ミニうさぎの場合は“ミニ”といいながらも結構な大きさになることもあります。店員さんに確認をしましょう。

・敷材

ほとんどのうさぎ用ケージは床が金網でできています。金網だと足を痛めることがありますので、すのこなどをひきましょう。

・給水ボトル

うさぎが水に濡れないようにしてあげてください。

・トイレ

いろんな形のトイレがありますが、うさぎは尿を後ろに飛ばすことがあるので後ろに壁のあるものがよいでしょう。

・牧草入れ

牧草入れは特に個体によって好みが分かれやすいですが、うさぎは高い所にあるものに興味を示す傾向があるので、ケージに取り付ける形の物で最初は試してみるといいでしょう。

・えさ入れ

容器はうさぎがひっくり返してしまうことがあるので、重くて安定している物か、ケージにネジで取り付けられるものがよいでしょう。

・ブラッシング用品・爪切り

ブラッシングや爪切りはうさぎを健康に保つための必需品です。

・キャリーケース

うさぎは基本的に抱っこが嫌いな動物です。お出かけするときや、病院に行く時には必ず必要になります。

・サークル

うさぎをケージから出すときに必要になります。ある程度の高さが

ないと飛び越えてしまって危険です。

・トイレの砂

うさぎの尿は臭いますので、消臭効果のある物をおすすめします。

・ペットシート

こちらも消臭効果のある物がよいでしょう。

・牧草&ペレット

大切なうさぎの主食です。



うさぎの食事

・牧草

うさぎにとって一番大切な食べ物です。いつでも食べられるようにしておきます。歯を削る効果、お腹の中の毛をだす効果があります。

・ペレット

出来るだけ繊維質の高い物を選び、体重の5%の量を朝と夜、2回に分けて与えます。(生後5ヶ月までは食べ放題です。)

・水

昔はうさぎには水を与えてはいけないと言われていたようですが、うさぎにも水は必要です。毎日新鮮な水を与えてください。

・野菜

野菜を与える場合は、与えてもよい野菜と与えてはいけない野菜がありますので、調べてから与えるようにしましょう。

○与えてはいけない野菜○

じゃがいもの芽・ネギ類・果物の種・アボガド・ピーナッツの殻・

アロエ・観葉植物・モロヘイヤの種・どんぐり・ニンニク・とうもろこし

・おやつ

基本的にはうさぎにおやつは必要ありません。ですが、しつけの為や飼い主との交流の為、少量なら与えてもよいでしょう。

ただし、小麦や糖類の入ったクッキー系のおやつは避けましょう。

(たとえうさぎ用として売られている物でも同様です)

・その他

ご飯やパン、人間用のお菓子なども絶対に与えないでください。



うさぎを迎えたら…

うさぎはストレスに弱い動物です。新しいお家に慣れるまで、そっと静かに見守ってください。

～1日目～

家に連れて帰ってきたら水と食事を与えて、後はそっとしておきます。

～2～3日目～

少し声をかけてあげましょう。ただし、短い時間に限ります。

まだケージから出さないであげてください。

～4～6日目～

ケージの外から直接えさをあげてみたり、なでてあげてください。

徐々にうさぎとの時間を増やしていきましょう。

～7日目から～

慣れてきたらケージから出して遊ばせましょう。トイレや抱っこのしつけも始めていきましょう。しつけは長い目でうさぎと接してあげましょう。



うさぎのお世話

毎日やること

・食事のお世話

・トイレ、食器、給水ボトルを洗う

・ケージの掃除

・運動(1日1度はケージからだしてあげましょう)

・健康チェック(えさの減り具合や排泄物の色や形などのチェック)

・ブラッシング(品種や季節などによっては毎日でなくてもよい)

時々やること

・1週間に1度はケージ内の大掃除をしてください。

・爪切り(1・2ヶ月に一度)



うさぎと暮らしていく為に

うさぎと長く暮らすためには、知識が必要です。必ず1冊はうさぎの飼育書を購入してください。